

「箕輪町工業ビジョン（案）」へのご意見と町の考え方

○意見募集期間 平成31年1月29日（火）～平成31年2月12日（火）

○意見の総数 1件

いただいたご意見を内容により6つに分け、それぞれに回答します。

No	ご意見（要旨）	町の考え方
1	<p>全体的にきめ細かく現状分析や方向性が示され見栄えよくまとめられている。ただし、提言内容の具体性が乏しい面が見受けられ実効性が気懸りである。計画（ビジョン）を作ることが目的化してしまい、計画策定の本質的な目的を見失ってはいけないと思う。</p>	<p>工業ビジョンの実施について、具体的な行動内容は役割分担により実施していきます。また、毎年度、町の条例に定められた企業振興審議会での報告及び意見交換と、中間年には委員会を設置しての工業ビジョンの見直し等を通して進捗管理を行い、着実に実施していく予定です。</p>
2	<p>中小零細企業が大半を占める当地の実態を鑑みるに、地域の多様な資源を結集した支援の拡充が重要といえ、行政・商工団体・金融機関・教育機関・各種支援組織などが連携した支援が必要。諏訪圏ものづくり推進機構の体制や取り組みのような身近な好事例を参考にした箕輪町だけでなく近隣地域も含めた広域的な対応が必要であり、中長期的な目標や展望を持って計画的に推進していくことが肝要である。また、支援内容で拡充すべき点は企業の要望や課題認識に沿って明確化・共有化すべきであり、企業間の連携・協業については有効性の啓蒙活動とともに、具体的取り組みを行っていく必要がある。</p>	<p>当方でも、上伊那地域を中心とした多数の支援組織と連携しての支援は不可欠と考えており、本ビジョンは支援機関との連携支援を前提としたものとなっています。いただいたご意見にあるように、支援組織と一体となって、本ビジョンに掲げた目標に向け計画に沿い本ビジョンを推進していく予定です。</p> <p>また、企業間の連携についてはご指摘のとおり、現段階では企業の連携への意識は高くないのが現状でありますので、連携の有効性の啓蒙活動を含め、企業間連携の成果がでるような制度作成を考えております。</p>

3	<p>人材の確保と育成は企業の生命線であり、その支援は急務である。今後 AI やロボット等の技術革新が急進し、省力化が進むことは必至だが、多くの企業では有能な人材の確保や育成に苦慮している。人材育成は内容によっては集合研修も有効だが、基本で最大の方策は「実践的な学び (OJT)」である。人材の確保や育成に対する支援の方法として次のような手段を一考したらどうか。</p> <p>①プロフェッショナル人材事業の有効活用 ②地元の大手優良企業との連携による出身者の活用</p>	<p>人材の確保と育成は当方でも重要であると考えており、「現状課題と方向性④」において分析し、政策3において施策を掲げております。ご提案いただいた案について、①プロフェッショナル人材事業の有効活用については施策3-1に追加を予定しております。また、②地元の大手優良企業との連携については、既存制度の各分野別の登録制度の拡充を検討しています。</p>
4	<p>企業が方向性を定め効果的・効率的な経営を行っていくためには自社の特徴を的確に把握することが不可欠だが、自社のコアコンピタンスが不明確で有効な経営展開ができていない企業も多いと思われる。そのため、SWOT分析等の合理的な手法を用いつつ、企業の強み、弱みや外的要因等を客観的に分析し、次の展開に結びつける支援が必要である。</p>	<p>本ビジョン案は企業支援相談員の企業訪問時におけるSWOT分析を踏まえて作成されております。しかしながら、企業の客観的な分析の継続とその分析を踏まえての経営戦略に係る支援は重要と考えており、施策1-3に基づいて経営支援を行っていく予定です。</p>
5	<p>国、県、町等に多様な補助金制度があるが、企業に知られていないことも多く、知っていても各種手続きが煩わしく、十分に活用されていない。各種補助金のPRを十分行うとともに、申請・測定結果や評価・報告などの負担軽減に向けての支援が必要。</p>	<p>補助金制度のPR及び利用補助については現在、町の企業支援相談員を中心に行っており、今後も継続及び拡充していく予定です。</p>

6	<p>子供のころからものづくりの楽しさや魅力を啓蒙し、将来製造業への就労を促す取り組みが必要。指導者の育成や啓蒙活動を行いつつ、幼少時代や学生時代にもものづくりに接する機会を増やし、体験学習、キャリア研修、企業へのインターンシップ等工夫や機会提供が必要である。また、工学系の大学や専門学校への入学を促すような啓発とともに、学資援助等の補助制度の新設や拡充も検討すべきと考える。</p>	<p>若者の人材育成については施策2-3及び施策3-1において掲げており、教育機関と連携したキャリア教育や学生のインターンシップの拡充等を図っていく予定です。また、工学系の大学生等への学資の補助については、長野県南信工科短期大学の学生（当町在住者）への助成金制度があり、活用されていますので、更なるPRを行い、当該助成金の有効活用を図っていきたいと考えています。</p>
---	--	---